

第119号
夏休み特集

藤枝明誠 ニュース

FUJIEDA MEISEI News

発行 学校法人 藤枝学園 藤枝明誠中学校・高等学校 渉外課広報担当 / Tel 054-635-8155 / Fax 054-635-8494 / Email meisei@fgmeisei.ed.jp / URL https://www.fgmeisei.ed.jp

投げた! 打った! 守った! 夏の激闘ここに!!!

2023夏ベスト4、秋王者の藤枝明誠野球部は2回戦・3回戦とコールドで快調に勝ち進み、4回戦は知徳と1点を争う戦いをしました。

7月23日 4回戦 <草薙球場> 藤枝明誠 2-3 知徳
20日 3回戦 <草薙球場> 藤枝明誠 11-3 掛川東
13日 2回戦 <焼津球場> 藤枝明誠 9-0 島田



夏といったら野球応援。炎天下の中、野球部の皆さんが積み重ねてきた練習の成果を全力で出し切っている姿に感銘を受けました。

私たちが応援委員会は、4月から新体制になり初めての野球応援で、慣れない点はありませんが、野球部やチアリーディング部と一丸となり選手の皆さんの力になれるように全力で声を届けました。

私は昨年に続き応援委員を務めることになりました。1年目の時には人

熱い応援

前に出ることが苦手で緊張していましたが、2年目となり全校朝礼や大会での活動を重ねることに堂々とできるようになりました。この夏、野球応援という学校行事のなかで応援リーダーとしての経験をすることができたことに感謝しています。

野球部のみなさん、熱い試合を見せてくださりありがとうございました。引き続き応援委員会として団結し、これからの試合も全力応援していきます。



応援委員会委員長
210 HR 菅谷彩斗
(藤枝明誠出身)

私たち野球部は、6月30日から7月29日にかけて行われた第106回全国高等学校野球選手権大会静岡県大会に出場しました。結果はベスト16と悔しい結果に終わりました。ベスト8をかけた知徳戦では守備に乱れが出てしまっ先行される展開になり、こごとという場面での一本が出ず敗れてしまいました。この一年間、より強さを求めてきただけに悔しい負け方でした。しかし、新チームが始まった当初から大事にしていた「気持ちのいい野球」は最後まで貫くことができたと思います。そしてこの大会を通して感じたことが2つあります。一つは自分の持っている力を出し勝負に勝つことの難しさ。もう一つはたくさんの方々を支えられているということ。一年を通してとても大きなパワーをもらいました。

暑い中球場に駆けつけ声援をくださった、本当にありがとうございました。今後とも応援をよろしくお願いいたします。

感謝の夏

「応援は他の高校に負けない!」
これは私たちチアリーディング部が自信をもって言うことができる言葉です。対戦高校を圧倒することができない迫力のある応援をし、声を選手に届けることを常に心掛けています。チアリーディングは人を応援するために始まったスポーツです。私たちは「自分自身の姿をもって選手や多くの人に勇気を与え共に応援する」気持ちを大切にし応援活動



野球部主将
31 HR 一瀬 友希
(山梨県南都立南都中出身)

日差しが強くなり、今年も野球応援のシーズンになりました。昨年に引き続き、私は部内で野球応援の指揮を執ることになりました。野球部やチアリーディング部と曲やコールを入念に確認し、スムーズに進行することを心がけました。また、クラスは野球部の仲間が多く、普段から彼らが真剣に野球に取り組む姿を見てきました。この姿に感化され、私も一緒に彼らの夢を応援したいという気持ちが強くなりました。

最後の応援

試合中は、私たち吹奏楽部の演奏が彼らの士気を高めることができると信じて応援を続けました。結果は惜しくも4回戦で敗れてしまいましたが、最後の1球まで決して諦めず、全力でプレーを続け、チーム全体が連携し互いに支え合う姿に、私たちも多くの学びを得ました。この2年間野球応援に関わることができ、感謝しています。来年の大会で素晴らしい成果につながることを願っています。



吹奏楽部
33 HR 川本浩佑
(藤枝市立青島北中出身)

「応援は他の高校に負けない!」
これは私たちチアリーディング部が自信をもって言うことができる言葉です。対戦高校を圧倒することができない迫力のある応援をし、声を選手に届けることを常に心掛けています。チアリーディングは人を応援するために始まったスポーツです。私たちは「自分自身の姿をもって選手や多くの人に勇気を与え共に応援する」気持ちを大切にし応援活動

最高に熱い夏を

「応援は他の高校に負けない!」
これは私たちチアリーディング部が自信をもって言うことができる言葉です。対戦高校を圧倒することができない迫力のある応援をし、声を選手に届けることを常に心掛けています。チアリーディングは人を応援するために始まったスポーツです。私たちは「自分自身の姿をもって選手や多くの人に勇気を与え共に応援する」気持ちを大切にし応援活動



チアリーディング部
キャプテン
311 HR 大石 結花
(藤枝明誠出身)

体験・学び・成長する明誠生の夏休み

海外留学、ボランティア活動やオープンキャンパス参加などの夏休みの体験を発表

海外留学



英数科国際教養コース
26HR 杉本 恵維
(焼津市立大村中出身)

「歩」

今回の夏休みは、私にとっても非常に充実したものでした。

所属スタジオの発表会やそのリハーサルだけでなく、あるコンクールで入賞し海外留学の切符をつかむことができました。今まで十数年間、積み重ねてきた努力が実を結び、さらに自分自身にとっても大きな自信



となりました。私はこれまでに、バレエを学ぶために3度の海外留学を経験しました。新しい国、言葉、文化に触れながら、技術面だけでなくバレエとの向き合い方も大きく成長させることができました。



ありましたが、今回の成果も、こうした日々の積み重ねがあったからこそ得られたものだと信じています。

これからの学校生活でも、バレエで学んだことをいかし、授業にも積極的に取り組んでいくつもりです。困難に直面しても、過去の経験を糧にしながら前向きに挑戦し続けます。夢はまだまだ遠くにあります。努力を惜しまず一歩一歩、前進していきます。

海外留学



英数科英数コース
29HR 多々良 大和
(静岡大学教育学部附属島田中出身)

バンクーバー留学で探る日本茶の未来

私は今年の夏休み、静岡県内の「トビタテ」留学 JAPAN 制度を活用し、カナダのバンクーバーに約1ヶ月間留学しました。この制度は、静岡県の特性を活かした留学を支援するものです。

私の留学の目的は静岡県茶業の再興です。私は今の静岡茶産産を再興するには、海外市場への展開が不可欠だと考えました。そこで、静岡茶の海外での可能性を探るために留学を決意しました。

バンクーバーでは様々な活動を行いました。多くのお茶屋さんを訪れ、店員さんやお客様と対話し、日本茶の需要や現地での人気のお茶について学びました。

ホストファミリーやルームメイトには、抹茶ラテを作ったり静岡茶を急須で淹れたりして、日本茶の魅力を伝えました。これらの経験は、日本茶の海外進出の可能性を広げるための貴重な学びとなりました。休日には、大吊橋やゴ

ンドラ、ヘアウォッチングなど、カナダの美しい自然も体験しました。一方で、ホームレスの人々や薬物問題など、日本ではあまり見かけない社会問題も目にしました。最初はショックを受けましたが、この事で自分の異文化への理解が深まりました。

少しでも留学に興味がある皆さんへ。ぜひ「トビタテ」留学 JAPAN について調べてみてください。一人で留学は不安はもちろんあると思いますが、私も最初は心配でした。しかし、新しい環境に飛び込んでみると、案外何とかなります。自分の興味や、やりたいことを信じて、ぜひ挑戦してみてください。

オーキャンパス



普通科理数コース
35HR 古山 暁洋
(岡山市立桑田中出身)

3年生としての夏休み

高校生最後の夏休みでは、受験生として大学受験に向けての準備と部活動に力を入れました。

私は大学受験に向けての準備としてオープンキャンパスに参加しました。実際に大学に行ってみると、大学の周辺の様子や大学の雰囲気など大学のホームページやパンフレットでは分からなかったことを肌で感じることができました。

特に大学の敷地の広さや施設の多さにはとても驚きました。さらに大学の方による大学や学部について説明を受けることができました。特に大学の敷地の広さや施設の多さにはとても驚きました。さらに大学の方による大学や学部について説明を受けることができました。

ではどの学生も様々な研究テーマを持っていて、読んでとても面白いと思うものがたくさんありました。このように色々なことを研究することのできる環境が整っているところがとても魅力的でした。

この夏休みは大学に向けての準備に加えて部活動でも練習・試合・遠征全てに全力を注ぎ活動することができ、とても充実したものになりました。同時に大学受験に向けての準備をより頑張らなければならぬと感じました。

これからも一日の時間の使い方を考えて生活し、勉強と部活動どちらも良い結果を出せるようにしていきたいと思っています。

オーキャンパス



英数科英数コース
28HR 外園 奈津
(藤枝明誠中出身)

進路を考えてみた夏休み

私は今年の夏休みに初めて、防衛大学のオープンキャンパスに参加しました。オープンキャンパスでは、学校の説明を聞いた後、模擬授業を受けたり、大学の施設見学をしました。

大学の説明では、1日の生活や行事についての話を聞きました。やはり、話を聞いていると他の大学よりも生活や訓練など大変そうなのが多いと感じました。でも行事では防衛大学ならではのものが多く、面白かったです。

結果が必要な行事ばかりでも魅力的でした。模擬授業では、防衛学の授業を受けました。とても専門的で、私には難しい授業でしたが、私には興味深い内容でした。大学見学では食堂や寮などを見させていただきました。とても広かったのでも、ここへ行くにも疲れを感じました。

途中にとても暑い中、長袖、長ズボンで訓練を受けている光景が目に入りました。とてもリアルな一面でした。



私は今まで進路について何も考えずに高校生活を過ごしていましたが、オープンキャンパスに参加して、今自分がしたいことや将来について考える良い機会になりました。それと同時に防衛大学校での生活や訓練など、4年間をおくるのも良いなと思いました。これからしっかりと進路を考え、勉強も今以上に力を入れ、文武両道に励んでいきたいと思っています。

ボランティア



普通科理数コース
34HR 望月 碧
(島田市立島田第二中出身)

ボランティアに参加して学んだこと

私は8月6日から9日の4日間、えだこ児童クラブにおいてサマーショートボランティアに参加しました。

私が今回ボランティアに参加した理由は、自らの成長につながると思ったからです。私は大学で経営学部が保育学部のどちらを受験するか悩んでいました。その時に先生からこのボランティアの話聞き、大学で行きたい学部を決める手助けになると思い、今回のボランティアの参加を決めました。

このボランティアの主な活動内容は、児童館で預かっている子どもたちと遊んだり、施設の指導員さんの手伝いをしたりすることです。子どもたちと接するとき、目線を子どもに合わせ、わかりやすい言葉を使うことを心がけました。最初の2日ほどは緊張して、特定の子どもとしか話さなかったり、遊んだりすることができなかったのです。しかし、活動に慣れ、徐々に他の子どもとの声かけ方が

分かるようになり、自分から積極的に行動できるようになりました。今回のボランティアに参加する中で、分からないときにはすぐに質問することの大切さを実感しました。指示内容が理解できなかった時、すぐに聞かずそのままにしてしまうと、その指示内容が注意事項だった場合、子どもたちが危険な目にあってしまうので、分からないときはすぐに質問するというのがいかに大切かということがよく分かりました。

今回のボランティア活動は、大学の進路で迷っていた私にとってとても良い経験になりました。ボランティア活動で学んだことを忘れず、将来に活かしたいと思っています。

夏休みの活動

Step by step



英数科国際教養コース
16HR 戸塚 玲佳
(菊川市立菊川西中出身)

私の夏休みには、2つの貴重な体験がありました。1つ目はイングリッシュサマーキャンプです。このキャンプでは、普段経験することのできない少人数制、かつネイティブ講師の方によるオールイングリッシュの授業を受けることができました。

2つ目は「聞き書き甲子園」です。私は、「聞き書き甲子園」という活動に参加しています。聞き書き甲子園とは、日本全国の高校生が森や海・川の名人を訪ね、知恵や技術、人生そのものを「聞き書きし」、記録する活動です。この活動に参加するために、作文審査に応募し、約2倍の倍率

を学びながら全員でベストを尽くすことができました。3日間を通して、英語を使ったコミュニケーションの楽しさと重要性を実感し、語学力を向上させることができました。

この夏休みの経験は、私にとって成長の大きな一歩となりました。これからも様々な経験を通じて、自分を磨いていきたいです。

高校1年生、この半年を振り返る

4月に入学して半年。藤枝明誠で経験したこと、学んだこと、感じたことを語ります。

半年間の高校生活を通して



普通科
12HR 鈴木海斗
(鳥田市立川根中出身)

私が明誠に入学してから半年が経ちました。12HRはとても元気がよく、楽しい高校生活を送ることができています。また応援される人になるために、高校生活の中で少し違ったら挨拶することや誰に対しても明るく接することを心がけています。

私が高校生活の中で特に頑張っていることは2つあります。1つ目は勉強です。高校では中学と異なり、今の1年生の成績が2年後の大学受験にも大きく影響します。そのため、テストの1週間前から隙間時間を活用してテスト勉強に取り組みました。その結果、前回のテストでは自分の目標を達成することができたので、この成功体験をこれからも積み重ねていきたいです。



42期生341名がむかえた入学式



新しい仲間と手作りカレーを食べる



宿泊訓練で集団行動の大切さを知る



青藍祭のステージ発表でクラスの団結を深めた

目標を持って



英数科英数コース
17HR 朝比奈大介
(藤枝市立大洲中出身)

藤枝明誠高校に入学して半年が経ちました。初めは学校生活や学習の進め方についてなど、分からないことが沢山ありましたが、現在では明誠で充実した生活を送ることができています。4月におこなわれた集団宿泊研修や6月におこなわれた青藍祭、また何気ない日常生活の中でクラスの仲を深めることができています。学習についても予習や復習を徹底し、日々継続して学習することを心がけています。

これまでの生活を経て、私がこれから力を入れて取り組んでいきたいことは学習です。高校での学習は、数学をはじめとして中学より難しくなっています。そのため、日々おこなわれる小テストや英単語テストに全力で取り組み続け、戦い続けていきます。

また、英語力を向上させるため、英検にも積極的に取り組んでいきます。隙間時間を生かして単語を繰り返し学習し、文章力を身につけて、1年生のうちに英検2級に合格することを目標にします。

未来に向かって



英数科英数コース
17HR 田中優羽
(静岡大学教育学部附属島田中出身)

明誠高校に進学してから半年が経ちました。最初は勉強や友人関係に不安を持っていましたが、日々の学校生活を送る中で皆とすぐに打ち解けることができたので、今では充実した毎日を送っています。

また、授業の進みが速い数学では予習や復習を徹底しなければ力がつかないことを実感しています。そのため、これらをより実践的におこなうことを心がけ、家庭学習の時間を作って計画的に取り組みました。その結果、納得できました。

最後に、社会に出て誰かの役に立ち、頼られる大人になることを目標に、不撓不屈の精神で日々成長していきたいです。

東京グローバルゲートウェイ



未来につながる体験

英数科国際教養コース
26HR 高畑恋那 (学校組合立牧之原中出身)

26HRは7月の終わりに東京グローバルゲートウェイを訪れました。そこでは英語力の向上に繋がる実践的なプログラムが数多くおこなわれていました。

具体的に私たちは英語を活用し、レストランでの注文やお店での買い物、新聞記事の作成を体験しました。この研修でどのように表現したら相手に伝わり、相手がより理解しやすくなるのかを自然と考えるようになりました。一度では伝わらなくても、他の言い回しで表現してみたり、ジェスチャーを交えたりと、試行錯誤しながら伝えようとする気持ちが様々な場面で生まれました。

この研修は私たちの英語力を伸ばすだけでなく、コミュニケーションに対する意識

も高めてくれました。外に出て観光地に行くと、様々な言語が使われています。実際に東京グローバルゲートウェイでの研修後にお台場研修をしていると、様々な国からの観光客がいました。私は韓国からの観光客の方と話をすることがあり、韓国語で会話をしました。自分が学んだことを生かして人と関わりを持つことは、言語学習への更なる意欲向上に繋がりました。

グローバル化が進んでいる今、言語に触れる楽しさを感じ、さらにそれが生かされる喜びとなり、大変貴重な経験をすることができました。この経験を忘れず、今後も積極的に言語を学び、人とのつながりを大切にしていきます。



お台場で多くの出会いをした



実際の生活の場面を想定したコミュニケーションを練習

イングリッシュ・サマー・キャンプ



English Summer Campを通して

英数科国際教養コース
16HR 井野颯 (掛川市立東中出身)

8月1日から3日の2泊3日、私たちは静岡県立焼津青少年の家で研修をおこないました。研修の2週間前から、英単語学習や基礎的な会話の知識の習得、分からないところは各自で調べるなどの予習をしました。

当日、会場に向かう道中は緊張していましたが、ECCの2人の講師の先生やコーディネーターの方が温かく迎えてくれました。初日は基礎の英単語から始まり、SDGsに関連する英語長文の読解などをおこないました。しかし、聞いて終わるのではなく、文章を読んでどう感じたのか、どのように解決していきたいのかを各自で意見をまとめ、英作文を作り、皆の前で1人ずつ発表しました。思いついた日本語を英語に変換することは難しく苦戦しましたが、友人と協力して話し合い、やり切ることができました。

講義中は緊張の連続でしたが、夜はパーティーでレクリエーションをおこない、先生方とも楽しくコミュニケーションを取ることができました。

2日目は主にグループごとでプレゼンテーションの準備をおこないました。内容や話し方を含めて長い時間をかけて話し合いました。その成果を発表するのが最終日です。先生やクラス全員の前でグループのプレゼンテーションがおこなわれました。大勢の前での発表は難しく、とても緊張しましたが、普段はできない貴重な良い経験をさせていただきました。

最後に、この研修で仲間との関係を深め、英語力を向上することができました。これらの経験を今後の学校生活に活かしていきたいです。



レクリエーションでも仲を深めた



最後は修了証をもらい、講師の先生と記念撮影

USA Japan Cheerleading & Dance Student Championship 2024 EAST

高等学校編成 Show Cheer部門 Novice 第2位



チアリーダー



普通科理数コース
34HR 山本 蘭
(藤枝明誠中出身)

私達チアリーダー部は先日行われたUSA Japanチアリーダー部&ダンス学生選手権大会2024 EASTに出場し、2位を獲得しました。今年も30人を超えるメンバーでの出場になったことに加え、初めて部員数が高校生よりも中学生の方が高い状態での挑戦でした。人数が多い分、チーム全体の一体感を保ちながら、全員が一つの目標に向かって進むことは決して簡単なことではありませんでした。特に最上級生が二人しかいなかったことから、リーダー

シップの面で不安がありました。しかし、下級生達が積極的にサポートし合ってくれたおかげで、全員でチームを引っ張っていき、その結果本番ではミスなく最高の演技を披露することが出来ました。この大会を通じて、私はチームワークの大切さを改めて感じました。この経験をこれからに繋げ、また次の目標に向かって頑張っていきます。



2024 部活に燃える高校生たちの真夏の祭典 北部九州総体!

令和6年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 準々決勝で延長の末、惜しくも敗れベスト8



Redeem ~冬奪冠~

普通科総合コース
31HR 古田 愛礼 (北海道北見市立瑞野中出身)

インターハイの応援ありがとうございました。チーム目標である「日本一」を成し遂げるために全員で戦い抜きましたが、ベスト8に留まり、満足のいく結果を出すことはできませんでした。しかし、ウィンターカップに向け多くの課題を見つけることができました。特に改善すべき点は、チームとしての一体感が不足していることです。勝負どころで自分がどれだけチームのためにやるべきことを徹底的に遂行できるのか、ということが非常に大切です。今年のチームはベンチの選手も含めて10人以上の選手で戦う総力戦です。一人ひとりが役割を持っているからこそ、チームが一体になった時、「日本一」という目標を達成できると思います。これからも藤枝明誠高校バスケットボール部に関わる方々に希望と感動を届けられるよう頑張りますので、応援宜しくお願いします。

令和6年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 陸上男子、明誠陸上部から3名出場!



応援の力

普通科総合文系コース
31HR 杉本 紘一郎 (静岡市立清水飯田中出身)

日時: 令和6年7月30日 会場: 森陸上競技場
【砲丸投げ】杉本紘一郎 【800メートル】小沢軌心 【5000メートル】木村隆晴
予選2組 11位 14メートル83 予選2組 4位 1分53秒50=準決勝進出 予選3組 16位 14分47秒25
準決勝2組 8位 1分55秒81

私は7月28日から8月1日に福岡県で行われたインターハイに砲丸と円盤の2種目で出場しました。私は今年の1月に左腰を怪我してしまいました。その後、右腰と立て続けに故障し、怪我を抱えながら練習や試合をしていました。そしてインターハイ出発の2週間前に投げる動作をするだけで痛みが出てしまうようになってしまいました。そんな私の体を動かしてくれたのは、応援してくれてくれた声でした。「みんなの応援に伝えたい」その思いが何度も諦めそうになった時に助けてくれました。だからこそ、皆さんの応援に伝えることができず悔しく、申し訳ないです。この悔しい気持ちをもう二度としないために、今までの以上の努力をして大学では日本一をとります。今まで多くの応援をありがとうございました。

第9回 東海ビーチバレーボール選手権大会 出場!



6月29・30日に第13回 静岡県ビーチバレーボールジュニア選手権大会で後藤奏飛-橋本颯真ペアが準優勝! 8月25日の東海大会に出場しました。

私たちは、8月25日に三重県でのビーチバレーボールジュニア選手権大会に出場しました。普段とは違う環境に慣れず自分たちのバレーが展開できないまま、予選敗退してしまいました。しかし今回の大会やビーチの練習を通じて得たものを、インドアの競技で活かし、10月の選手権で県8を目指します。

普通科理数コース
25HR 後藤 奏飛
(焼津市立大村中出身)
私たちは、6月29、30日に行われたビーチバレーボールジュニア選手権大会で準優勝し、三重県での東海大会に出場しました。部活動でビーチバレーを練習するようにになり、2人で8×8mのコートを守り、砂の上を動く大変さを痛感しました。県予選では練習の成果を発揮し、好成績を残すことができました。

第65回静岡県吹奏楽コンクール中部地区大会 高等学校A編成金賞、県大会出場

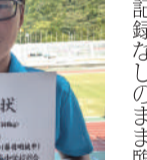
吹奏楽部は8月4日におこなわれた第65回静岡県吹奏楽コンクール中部地区大会で金賞を受賞し、県大会に出場することができました。私たちはこの1年間、良い音楽、人の心を動かす演奏を求めて練習してきました。そのため、今回このような結果を得られたことを大変嬉しく思います。今回のコンクールを通して、私たちは音楽の持つ力の素晴らしさを感じることができました。音楽は心の表れであって、演奏者が込めた想い、伝えたいことや表現したいことがそ

のままで音になります。だからこそ音楽には人の心を動かす力があるのだと思います。この1年間の活動の集大成ともいえるコンクールの舞台上で演奏できる喜びや、私たちの活動を応援して下さる方々への感謝の気持ちを、楽しみながら表現できました。これからも多くの人の心を動かせるよう努力を続けていきますので、今後とも応援を宜しくお願いします。



英数科英数コース
39HR 金丸 力矢
(藤枝市立青島中出身)
吹奏楽部は8月4日におこなわれた第65回静岡県吹奏楽コンクール中部地区大会で金賞を受賞し、県大会に出場することができました。私たちはこの1年間、良い音楽、人の心を動かす演奏を求めて練習してきました。そのため、今回このような結果を得られたことを大変嬉しく思います。今回のコンクールを通して、私たちは音楽の持つ力の素晴らしさを感じることができました。音楽は心の表れであって、演奏者が込めた想い、伝えたいことや表現したいことがそ

令和6年度第46回東海中学校総合体育大会陸上競技大会 中学最後の夏



中学最後の夏

英数フロンティア
J32HR 尾花 煌太郎 (島田第三小出身)

私は8月7日に行われた東海中学校総合体育大会に円盤投げで出場し、結果は33m76cmで第5位入賞でした。私は直前の記録会で1投目に記録が残せず気持ちが追い込まれ、焦ってしま

いその後の2投目と3投目も記録を残せず、記録なしのまま臨んだ東海大会。1投目に記録を残すことを意識して投げ、記録が残り、気持ちが楽になり2投目に33m76cmで自己ベストを出せました。しかしその後の3投目から決勝戦の3投目まで記録が伸びず、2投目の記録のまま入賞しました。

私は来年高校生になるので、円盤投げで高校1年生では先輩に負けないよう35m以上を投げ、県大会では決勝戦出場、高校3年間はインターハイ決勝戦に出場を目指し、日々の練習で課題を見つけて、それをすぐに修正することを目標にしてこれからの練習に取り組み、努力を重ねていきたいです。

【ライフル射撃】 全国大会に向けて

普通科
14HR 秋山 和輝 (藤枝明誠中出身)

私は9月27日から30日に大分県で行われる国民スポーツ大会ライフル射撃競技に出場します。私は中学3年生から本格的にチームライフル競技を始めました。最初は姿勢や銃の構え方など直すべき点が多く、全然上達できませんでしたが、自分に合ったコートや銃の細かい調整をすることで少しずつ点数が上がっていきまし。そして今回国民スポーツ大会という大きな舞台の出場権を獲得できました。この競技は緊張で狙いが乱れることが多いので、自分なりに緊張を和らげ、精一杯の力を出し切ります。

【陸上競技】 記憶に残る選手へ

普通科総合コース
33HR 小澤 軌心 (浜松市立堀塚中出身)

私は7月に福岡県で行われた全国インターハイに800m走で出場しました。しかし、悔しい結果に終わってしまいました。ところが、その私に国民スポーツ大会という大舞台で走ることができる機会が与えられました。この大会にはインターハイで私が勝てなかった選手や日本新記録を出すような高校生が多くいます。しかし、静岡県代表としての誇りを持ち、恐れず再挑戦します。いつも私を支えてくれている人を驚かせる走りが入賞し、記憶に残る選手になります。大会は10月11日、佐賀県で開催です。応援お願いいたします。

【バスケットボール】 全国大会に向けて

普通科総合コース
23HR 長谷川 陽大 (香川県丸亀市立西中出身)

私は静岡県代表として、8月末に愛知県でおこなわれた東海大会に出場しました。昨年より練習回数が少なく、また遠征の中で新しいことに挑戦したため課題が多く見つかりました。課題の克服はもちろんですが、その中で自分たちのスタイルを作ることも難しく、もどかしい時間が続きました。しかし、大会を通して1試合ごとにチームの団結力が高まり、良い雰囲気の中で戦うことができました。また、負けている時一人ひとりが自分の役割を全うしたことで、東海大会を1位で抜け、全国への出場を決めることができました。全国大会に向けて、日々の行動に自覚を持ち、質の高い練習で自信をつけていきます。そして、去年の結果を超える優勝を目指し、一戦必勝で頑張ります。

SAGANON 4 国民スポーツ大会

10月5日から開催される国スポに明誠から9名の生徒が出場します! 頑張ってください!!

【バスケットボール】
11HR 小森 蒼斗
高平 爽太
渡邊 聖
12HR 永田 貴陸
14HR 中島 将之介
董 博仁
15HR 佐々木 悠斗
18HR 徳田 翔太
23HR 長谷川 陽大

【陸上】
33HR 小澤 軌心

【射撃】
14HR 秋山 和輝